

# 土木学会 見える化データ 2013（詳細版）

## 4. 社会への直接的貢献

- 土木学会は、2014年に創立100周年を迎える公益社団法人です。
- 学会個人会員数は約30,000人、その多くは企業に所属する土木技術者です。
- 土木学会には、30以上の研究委員会が設置され、多くの学会員が参加し活発に活動しています。
- ここでは、土木学会の2012年度の活動のうち、社会支援、社会とのコミュニケーション、社会への直接的貢献を目的とした活動などを抜粋して紹介します。
- 多くの皆様にご覧いただき、開かれた学会として、より良い方向へ発展し続けていきたいと考えています。

2014年2月9日  
(2014年5月5日修正)

土木学会 企画委員会

#### 4-3-1-1 トークサロン参加者数

- 土木学会では、一般の方も対象として、時々で社会で注目されている土木工学に関連する話題について、講師をお招きしてお話をいただき、参加者の方々との懇談・討議をしていただく「トークサロン」を定期的に開催しています(参加費は飲み物・軽食付きで1回2,000円です)。
- 2003年4月の第1回から2012年2月の第33回まで、延べ1,265人の方に参加していただきました。
- 表は、2012年度の講師テーマの一覧です。

回数	開催日	講師	テーマ
第34回	2012年9月18日	藤井 聡氏	列島強靱化論をめぐる話題
第35回	2012年11月20日	細見 寛氏	土木の新しい挑戦の方向性・・・土木は、グリーンエンジニアリング
第36回	2013年1月30日	大田 弘氏	先人達に学ぶ土木の心ー“クロヨン”が遺したものー
第37回	2013年2月22日	森田康夫氏	国土教育を考えるー日米の社会科教科書比較を通してー

## 4-3-1-2 ウォークサロン等参加者数

- コンサルタント委員会BC小委員会では、「土木の語り部と“東京の土木百景を”観光工学サロン!」等と題した町歩き「ウォークサロン」を、年間約50回、開催しています。
- 2012年度の代表的なものをご紹介します。

開催日	行事名	開催場所	概要	参加者数	組織名
2012年04月3日 ～5日	No.81 第38景は“忠臣蔵！ 刃傷松の廊下と浅野内匠頭切腹”の現場を歩く	東京駅 周辺	東京駅、行幸通り、和田倉橋、大手塚、大手門、本丸内堀、本丸石垣、平川門、日比谷公園、浜離宮、築地川跡、八丁堀跡、弾正橋など土木について、歩きながら解説した	毎回数名の参加/ 年間約50回開催	コンサルタント委員会(B C研究小委 員会)
2012年12月25日	No.117 第57景は箱根 駅伝路を田町から大森町駅まで巡る	田町駅～ 大森駅	第一京浜国道、東海道の石積み護岸、高輪大木戸跡、新八ツ山橋、東海橋、立会橋、鈴ヶ森刑場跡、大森陸橋、内川橋など土木について、歩きながら解説した		
2013年3月11日	No.127 第36景は“勝海舟と西郷隆盛が江戸城開城会談”の現場を歩く	四ツ谷駅～ 新橋駅	勝海舟氷川町屋敷跡～六本木～麻布十番～古川～NEC本社(薩摩藩邸跡)～勝・西郷会見の地～芝浜の薩摩藩浜屋敷～勝・西郷が参った愛宕神社～増上寺～帝国ホテル(薩摩藩上屋敷跡)など土木と歴史について、歩きながら解説した		

コンサルタント委員会ウォークサロン:  
<http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/osirase.htm>

## 4-3-2-1 (1) イブニングシアター等参加者数 (1/2)

### ■ 土木学会イブニングシアター

回数	上映年月日	上映場所	参加者数	作品名	制作年
66	2012年6月27日	土木学会講堂	104	余部橋りょう さらなる100年へ	2010
				土木のこころと田村喜子さん 東京大学名誉教授 高橋 裕先生	
				明日をつくった男	2003
67	2012年8月22日	土木学会講堂	62	昭和34年 伊勢湾台風	2009
				「三陸の奇跡」と「命の道」	2011
				東日本大震災、現場の戦い	2011
68	2012年10月10日	土木学会講堂	100	つくばエクスプレス建設物語 ～首都圏の未来を拓く～	2006
				北越北線 鍋立山トンネル工事 ～超膨張性地山との戦いの記録～	1996
				超過密都市を掘る 4心円シールド工法 ～都営地下鉄12号線六本木駅シールド工事～	2000
69	2012年12月5日	土木学会講堂	84	地熱に挑む	1963
				開発 大津岐ダム建設記録	1969
				次世代のアーチをかける 第2東名富士川橋	2000
70	2013年1月23日	土木学会講堂	76	石を架けるー石橋文化を築いた人々	1996
				洪水をなだめた人々ー治水と水防にみる先人の知恵ー	1997
71	2013年3月13日	土木学会講堂	100	「東日本大震災 ー初動期にどう対処したかー」	2011
				「三陸の奇跡」と「命の道」	2011
				復旧の軌跡ー阪神・淡路大震災土木施設の災害記録	1998
72	2013年4月12日	文京シビック 小ホール	294	勝鬨橋	1940
				「時を越えて」～名橋・万代橋～	1990
				余部鉄橋の記憶	2007

※ 2012年度開催分。

#### 4-3-2-1 (1) イブニングシアター等参加者数 (2/2)

### ■ 全国大会映画会

回数	上映年月日	上映場所	参加者数	作品名	制作年
6	2012年9月5日 ～7日	名古屋大学	330	昭和34年 伊勢湾台風／木曾三川～水と人間の歴史～ / 忘れない、東海豪雨／三六災害から50年／恵南豪雨災害／福井豪雨映像アーカイブス／昭和49年(1974年)／多摩川狛江市猪方地先 災害復旧記録／復旧の軌跡－阪神・淡路大震災土木施設の災害記録－ / 「三陸の奇跡」と「命の道」～東日本大震災から学びました～ / 「東日本大震災」の初動対応 東北地方整備局の3日間／東日本大震災、現場の戦い／21世紀の架け橋－第二名神高速道路木曾川橋・揖斐川橋－ / 余部鉄橋の記憶／余部橋りょう さらに100年へ／明日をつくった男 — 田辺朔郎と琵琶湖疏水 — / アフガンに命の水を / 首都高速道路を守れ—疲勞き裂対策3000日の軌跡— / 阪神大震災による道路の被災と復旧 / 崩れ 大地のいとなみと私たち	

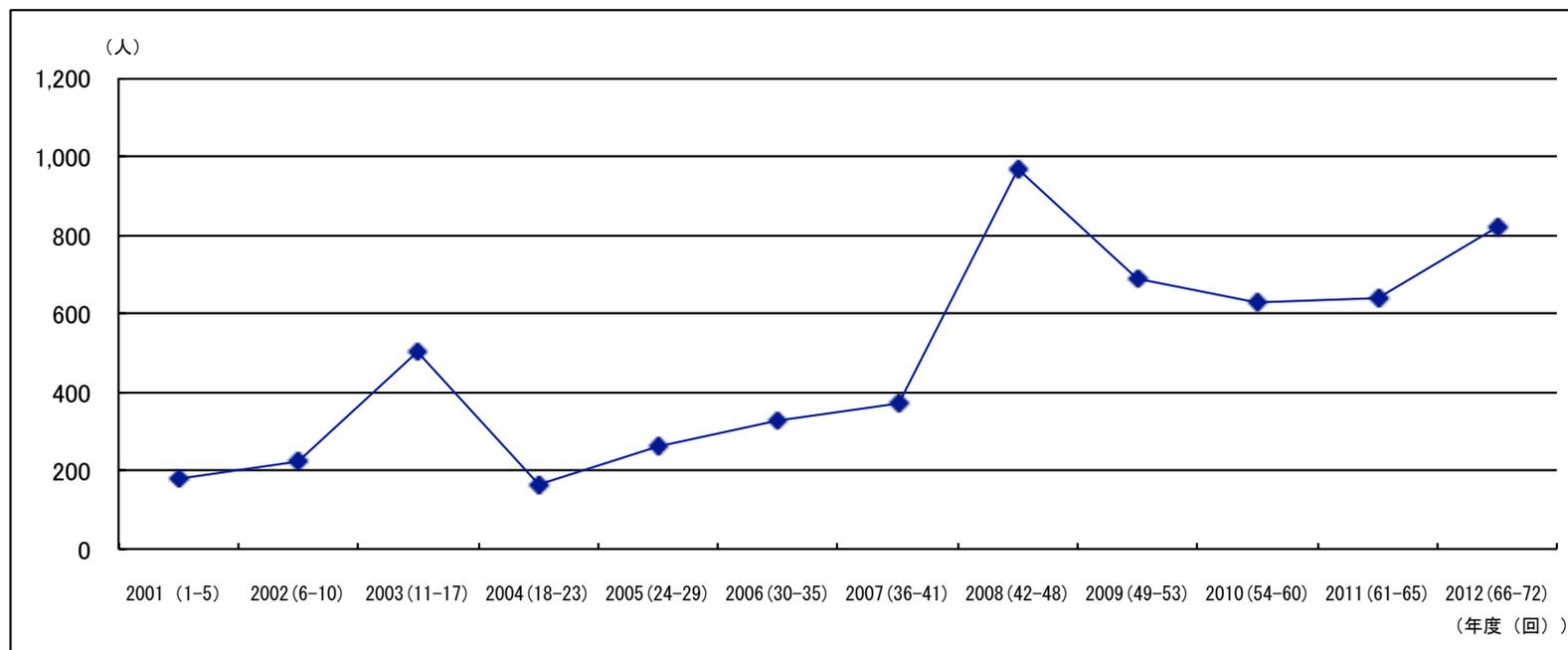
※ 2012年度開催分。

### ■ 北海道支部イブニングシアター(北海道支部共催)

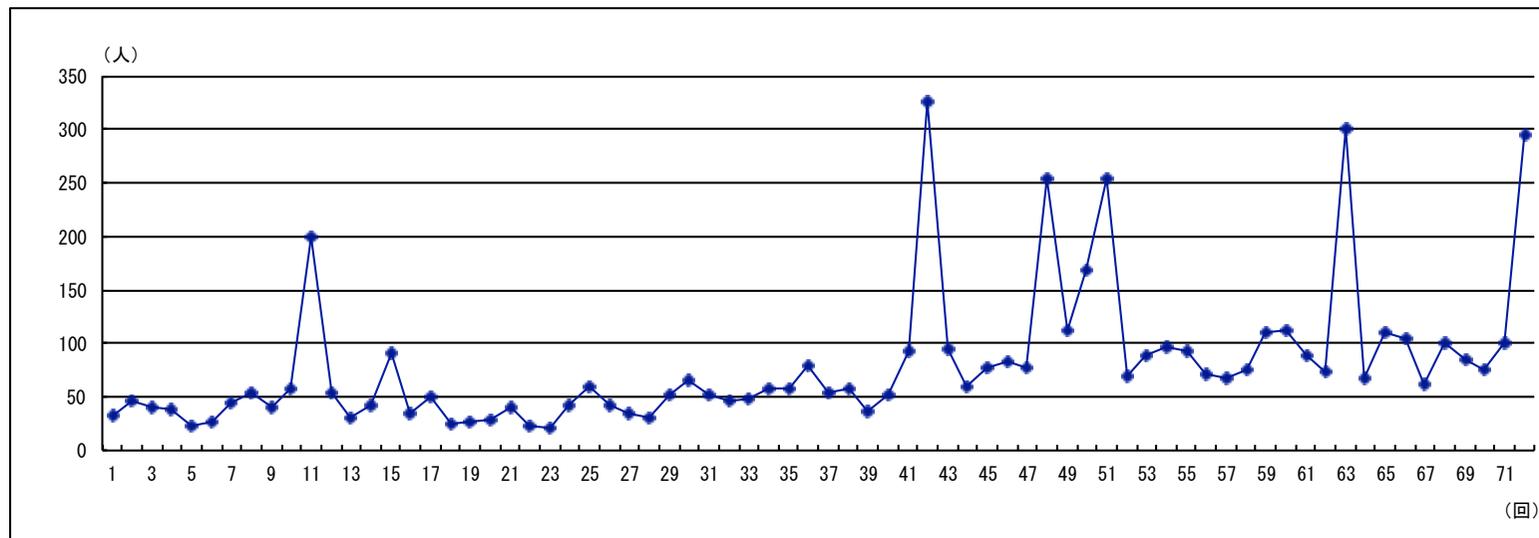
回数	上映年月日	上映場所	参加者数	作品名	制作年
3	2012年9月26日	札幌市民ホール	47	旭橋物語	
				潮風に築く～白鳥大橋建設記録～	
4	2013年1月23日	札幌市民ホール	51	「三陸の奇跡」と「命の道」	2011
				東日本大震災、現場の戦い	2011

※ 2012年度開催分。

### 4-3-2-1 (2) イブニングシアター参加者数の年度別推移



### 4-3-2-1 (3) イブニングシアター参加者数の回別推移



#### 4-3-2-1 (4) イブニングシアターの上映タイトル

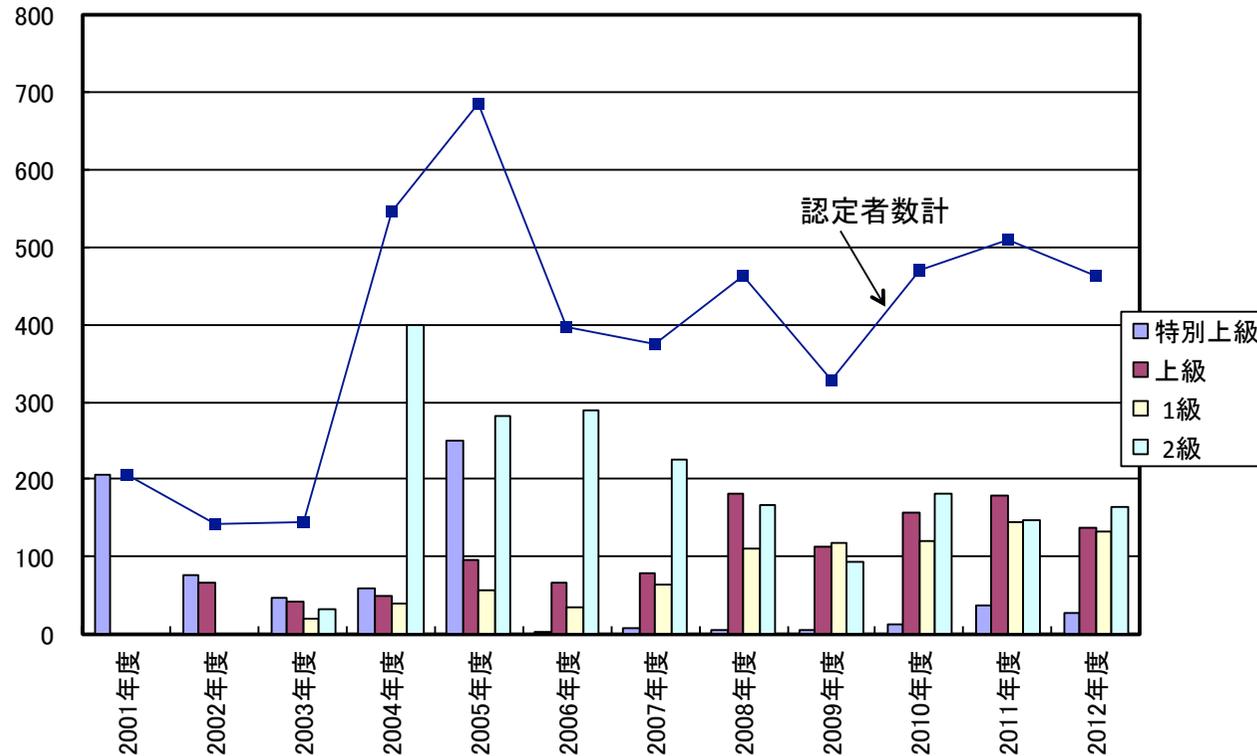
- 土木学会では、「イブニングシアター」として一般の方を対象とする、土木技術に関する無料の映画会を定期的に開催しています。
- 2001年11月から2013年4月までの間で75回開催し、延べ11,339人の方にご参加いただきました。
- 2012年度は東京都内で7回、札幌市内で2回、名古屋市内で1回、開催しました。
- 表は、2012年度に上映したプログラムの一覧です。

作品名	制作年
潮風に築く～白鳥大橋建設記録～	
石狩川 56年8月洪水の記録	
旭橋物語	
勝鬨橋	1940
地熱に挑む	1963
開発 大津岐ダム建設記録	1969
「時を越えて」～名橋・万代橋～	1990
北越北線 鍋立山トンネル工事 ～超膨張性地山との戦いの記録～	1996
石を架けるー石橋文化を築いた人々	1996
洪水をなだめた人々ー治水と水防にみる先人の知恵ー	1997
復旧の軌跡ー阪神・淡路大震災土木施設の災害記録	1998
超過密都市を掘る 4心円シールド工法 ～都営地下鉄12号線六本木駅シールド工事～	2000
次世代のアーチをかける 第2東名富士川橋	2000
明日をつくった男ー田辺朔朗と琵琶湖疎水	2003
つくばエクスプレス建設物語 ～首都圏の未来を拓く～	2006
余部鉄橋の記憶	2007
昭和34年 伊勢湾台風	2009
余部橋りょう さらなる100年へ	2010
忘れない、東海豪雨	2010
三陸の奇跡」と「命の道	2011
東日本大震災、現場の戦い	2011
東日本大震災 ー初動期にどう対処したかー	2011

### 4-6-1-1 技術者資格認定者数の推移

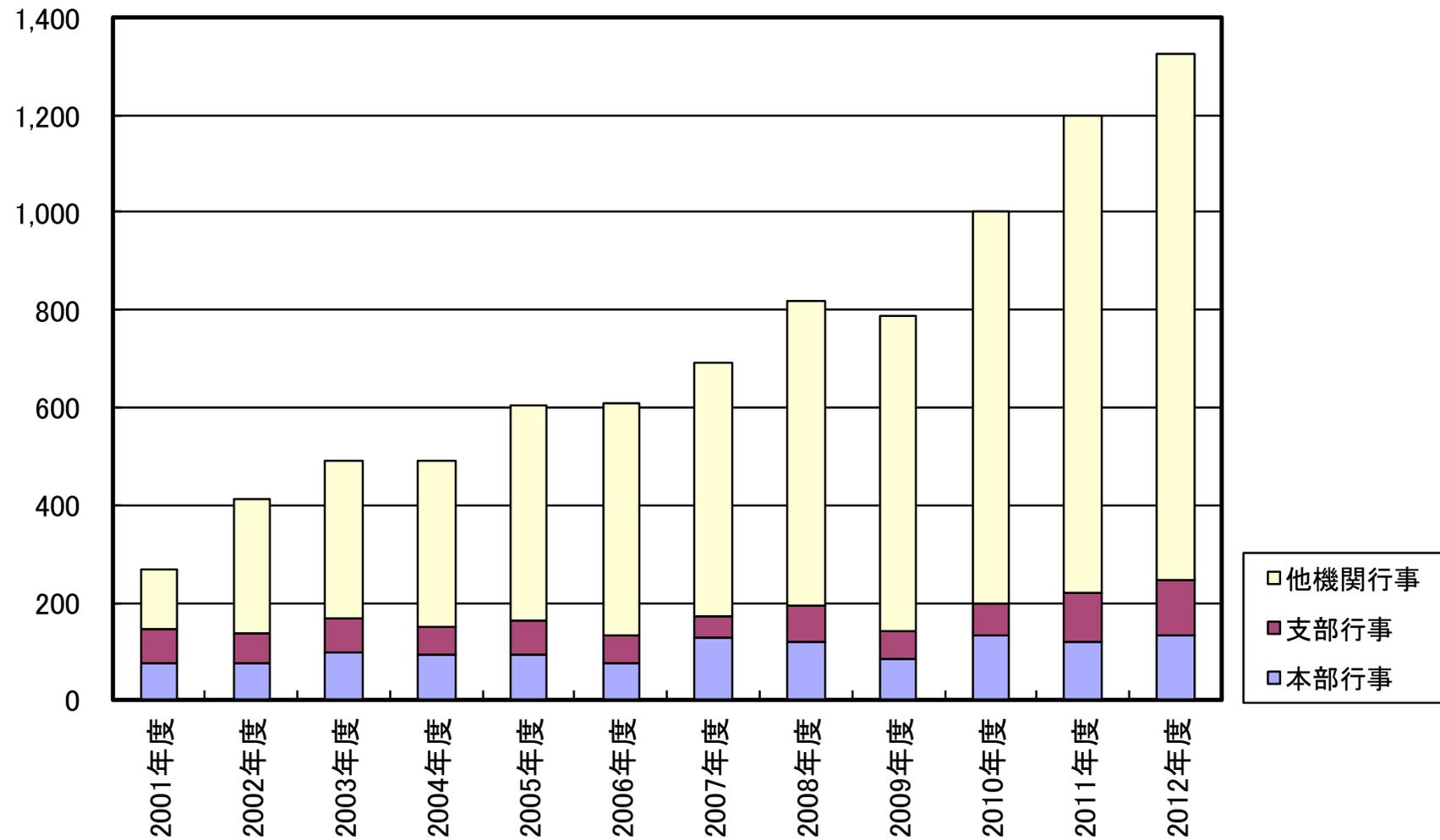
年度	特別上級	上級	1級	2級	合計
2001年度	206				206
2002年度	76	66			142
2003年度	48	43	21	32	144
2004年度	59	49	39	399	546
2005年度	250	96	58	281	685
2006年度	3	67	36	290	396
2007年度	9	78	64	225	376
2008年度	6	182	110	166	464
2009年度	5	112	117	94	328
2010年度	12	156	121	181	470
2011年度	38	178	146	147	509
2012年度	27	137	133	165	462
合計	739	1,164	845	1,980	4,728

(人)



## 4-6-1-2 (1) CPD認定プログラム数の推移

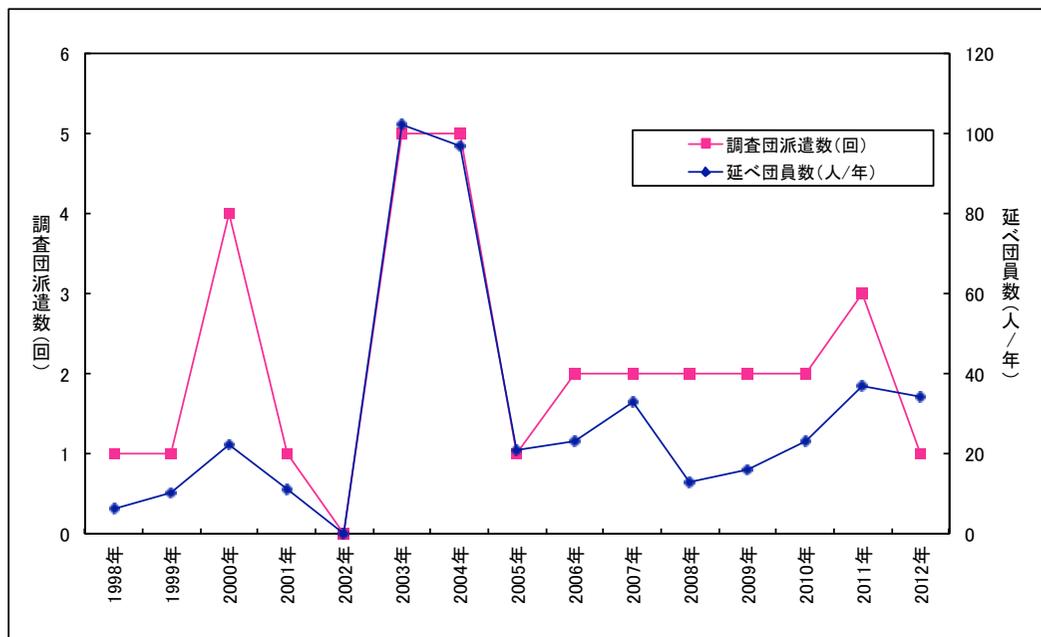
(プログラム数)





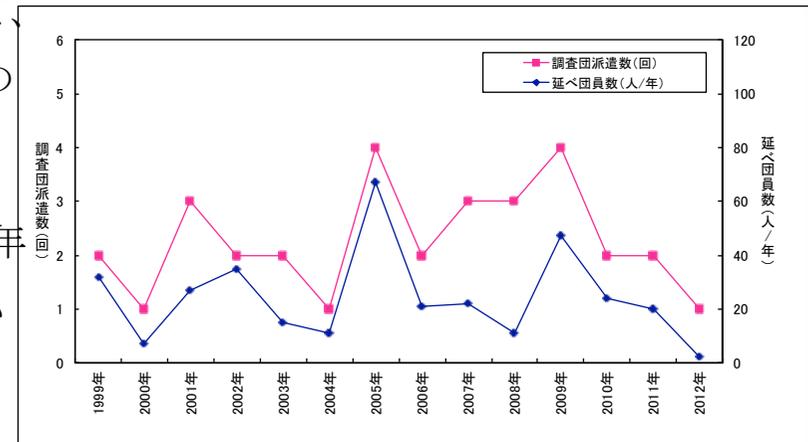
## 4-7-1-1 (1) 災害調査団派遣実績：国内

国内派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害
2010年	2	23	中国地方豪雨災害、広島県庄原市土砂災害
2011年	3	37	新潟・福島豪雨災害、台風第12号土砂災害、上越地滑り災害
2012年	1	34	九州北部豪雨災害



## 4-7-1-1 (2) 災害調査団派遣実績:海外

- 土木学会では、国内外を問わず大災害が発生した際に、発災後ただちに災害対策本部を設置し調査団を派遣して、専門的調査を行い、学術的、技術的見地からメカニズムの解明と防災上の提案を行っています。
- 特に東南アジアを中心とする海外へは、1999年から2012年の間に、延べ25か国、32回、341人の調査団を派遣しています。



国際派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾(地震)、トルコ(地震)
2000年	1	7	メコン河(水害)
2001年	3	27	エルサルバドル(地震)、インド(地震)、ペルー(地震)
2002年	2	35	イラン(地震)、ヨーロッパ(水害)
2003年	2	15	トルコ(地震)、アルジェリア(地震)
2004年	1	11	イラン(地震)
2005年	4	67	スマトラ(地震)、アメリカ(水害)、パキスタン(地震)、インドネシア(地震)
2006年	2	21	ジャワ島(地震)、スマトラ(地震)
2007年	3	22	ペルー(地震)、スマトラ(地震)、バングラデシュ(水害)
2008年	3	11	インドネシア(地震)、中国(地震)、ミャンマー(水害)
2009年	4	47	イタリア(地震)、台湾(台風・水害)、インドネシア(地震)、フィリピン(水害)
2010年	2	24	チリ(地震)、クライストチャーチ(地震)
2011年	2	20	タイ(水害)、トルコ(地震)
2012年	1	2	アメリカ(ハリケーン)

## 4-7-2-1 小中学校学習支援(理科・社会・総合)

- 土木学会では、小中学校の総合学習および理科・社会などの教科教育において、活用して頂ける教材や出前講座等の提供・支援を実施しています。

時期	実施先	支援対象	支援題目	授業内容	授業風景	支援団体
2012年 9月13日 10月12日	東京	多摩市立 連光寺小学校	小学4年生を対象とした 環境学習支援事例	多摩川を題材に ①水質調査(水の汚れ調べ)の学習 ②水辺環境の観察(川の生き物、流れる水の動き、河川構造物の働きなど)		キッズプロジェクト検討 小委員会
2013年3月6日	群馬	群馬大学 教育学部附属小学校	小学6年生を対象とした 自然災害学習支援事例	第6学年理科「大地のつくりと変化を調べよう」における、自然災害に関わる学習支援として ①液状化実験による体験学習 ②共振実験による体験学習 ③地震発生の仕組みに関する学習		キッズプロジェクト検討 小委員会

## 4-7-2-2 女子中高生夏の学校への協力

- 土木学会では、毎年「女子中高生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～」に協力し、女子中高生の理系選択の支援を行っています。

時期	会場	名称	参画内容	主な内容	実施風景	支援団体
2011年8月18日	土木学会 (東京都)	女子中高生夏の学校 2011～科学・技術者の たまごたちへ (主催:女子中高生夏 の学校 2011 実行委員 会)	共催、実施協力	「Part 1: 今、私たちにできること」と題し、震 災復興・復旧のためにできることを考えた。 ・キャリア講演 ・ポスター展示とデモ実験 ・学生企画 ・女性技術者・研究者の職場探訪		ダイバーシ ティ推進小委 員会
2012年8月9日～11日	国立女性 教育会館 (埼玉県)	女子中高生夏の学校 2012～科学・技術者の たまごたちへ (主催:国立女性教育 会館)	企画委員として参画	プログラム全体の企画、実施に参画した。 ・キャリア講演 ・ポスター展示・キャリア相談 ・サイエンスカフェ 等		ダイバーシ ティ推進小委 員会

## 4-7-3-1 支部行事開催実績(概要)

- 土木学会には、全国に8支部があり、土木への理解とご意見をいただく機会として、各種行事を開催しています。各支部の参加者数の多い行事をご紹介します。

支部名	開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数
北海道支部	2012年10月21日	PRイベント	北見市 北見文芸ホール	土木に関するPRのため、パネル展示や子供向けの緑日や記念品を配布した。土木に関する相談に応じアドバイスをした。		一般約700人
東北支部	2013年1月17日	第4回 東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム	宮城県仙台市 仙台市 情報産業プラザ	テーマ『維持管理の確実性と容易さについて』とし、橋梁保全に関するシンポジウムを行った。		500名
東北支部	2013年3月21日	東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会総括報告会	宮城県仙台市 仙台市 情報産業プラザ	「東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会総括報告会」を合同(土木学会・地盤工学会・地すべり学会・東北建設協会・コンクリート工学会・建築学会・都市計画学会)で行なった。		500名
関東支部	2012年8月25日	第18回 コンクリートカーヌー大会	荒川調整池「彩湖」	土木の主材料によるコンクリートでカーヌーを作り、ものづくりの楽しさを実感してもらうための、コンクリートカーヌー大会。		会員、一般約500名
中部支部	2011年11月25日	市民対象講座 「東海・東南海・南海地震に備えて」	名古屋 通信会館	「大規模震災発生時の緊急対応について～阪神・淡路および東日本大震災からの教訓を生かして～」 「液化化を考える～東日本大震災の分析と課題を通じて～」		一般127人
関西支部	2012年10月31日	建設技術展2012 近畿での『土木実験・プレゼン大会』 ～どうして？なぜ？ が一目でわかる～	マイドームおおさか	どうして？なぜ？が一目でわかる土木実験		200名
中国支部	2012年11月10日 ～23日	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」 優秀・佳作作品展示	広島市 市民交流プラザ	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」優秀作品13点、佳作作品50点を展示		展示期間中 約300名
四国支部	2012年11月2日	「土木の日」 記念講演会 「新たな公共工事執行システムの構築」	香川県 かがわ国際会議場	地方中心建設会社を見据えた入札システムおよび契約システムに着目した将来の公共工事システムの全体像について提示し、それを実現するための取り組みについての活動内容等を紹介した。		一般170名
西部支部	2012年8月22日	平成24年度 親子見学会	東九州自動車道 光国トンネル現場 遠賀川水辺館	「土木」への理解を深めてもらうことを目的に、小学生を対象とした「親子見学会」		大人13名 子供20名

(2014年5月5日：東北支部の情報を追加)

支部：  
<http://www.jsce.or.jp/branch/index.shtml>

## 4-7-3-2 支部行事開催実績:北海道支部

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年7月31日	親子現場見学会	夕張市 夕張シューパロダム 建設工事	親子による土木施設の現場見学を行い土木事業や技術の理解を深めていただいた。		一般43人	北海道支部
2012年10月21日	PRイベント	北見市 北見文芸ホール	土木に関するPRのため、パネル展示や子供向けの縁日や記念品を配布した。土木に関する相談に応じアドバイスをした。		一般約700人	北海道支部
2012年11月16日	土木の日記念講演会	札幌市 ホテルポールスター札幌	講演テーマ「北海道新幹線のさらなる活用を目指して」と題し北海商科大学 佐藤馨一先生、「新幹線開業に向けた官民連携の取り組みについて」と題し函館商工会議所地域振興課長 永澤大樹氏がそれぞれ解決策の提案と取り組み経過を紹介した。		一般125名	北海道支部
2013年1月23日	イブニングシアター 「記録映像で見る東日本大震災」	札幌市 市民ホール	東日本大震災における「啓開」「地域支援」「防災教育」の三つの戦いの現場を紹介し、土木技術者への教育・普及を推進することが出来た		一般51人	北海道支部

### 4-7-3-3 支部行事開催実績:東北支部

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2013年1月17日	第4回 東北地方の 橋梁保全に関する シンポジウム	宮城県仙台市 仙台市 情報産業プラザ	テーマ『維持管理の確実性と容易さ について』とし、橋梁保全に関するシ ンポジウムを行なった。		500名	東北支部
2013年3月21日	東日本大震災に 関する東北支部 学術合同調査委員会 総括報告会	宮城県仙台市 仙台市 情報産業プラザ	「東日本大震災に関する東北支部学 術合同調査委員会総括報告会」を合 同(土木学会・地盤工学会・地すべり 学会・東北建設協会・コンクリート工 学会・建築学会・都市計画学会)で行 なった。		500名	東北支部

(2014年5月5日：東北支部の情報を追加)

## 4-7-3-4 支部行事開催実績: 関東支部 (1/4)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年7月19日	土木学会山梨会講習会「富士川の治水と地震・火山災害」	山梨県 甲府市 山梨県立文学館	以下の2テーマについて講習会を実施。 1. 山梨県周辺の地震・火山災害の最近の知見 2. アジアの川へつなぐ富士川の治水		参加者数約240名 (会員、一般等の人数は把握していない)	関東支部 山梨会
2012年8月22日 23日	「親子工事見学会」	除雪ステーション 黒岩トンネル 鹿瀬ダム 三国川ダム JR東日本信濃川発電所	将来を担う子供たちに土木技術のすばらしさを紹介するために、土木の日記念行事として		20組 49名	関東支部 新潟会
2012年8月25日	第18回コンクリートカーナー大会	荒川調整池「彩湖」	土木の主材料によるコンクリートでカーナーを作り、ものづくりの楽しさを実感してもらうための、コンクリートカーナー大会。		会員、一般 約500名	関東支部
2012年10月10日	研修会	新潟県 刈羽原子力発電所防潮堤 INPEX直江津LNG基地 上越市板倉地区地滑り対策	新潟県内の土木施設見学による知識、技術の向上を目的に研修。		会員・学生41人	関東支部 新潟会
2012年10月12日	建設遺産見学会 (鹿行・県南編)	茨城県 ・水戸市 ・大洗町 ・茨城町 ・鉾田市 ・鹿嶋市 ・神栖市 ・美浦村 千葉県香取市	1. 備前堀(江戸時代) 2. 大貫運河跡(江戸時代) 3. 勘十郎堀跡(江戸時代) 4. 桜花公園(昭19年) 5. 居切堀(明4年) 6. 横利根閘門(大10年) 7. 霞ヶ浦湖岸施設(昭11年)		茨城会会員他 24名	関東支部 茨城会

#### 4-7-3-4 支部行事開催実績: 関東支部 (2/4)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年10月28日	建設フェスタ2012 出展参加	茨城県 ひたちなか市	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鉄道模型の鉄橋変位表示</li> <li>2. コンクリート内部透視実演</li> <li>3. ダム原理模型実演展示</li> <li>4. 選奨土木遺産パネル展示</li> <li>5. クイズの実施</li> </ol>		茨城会ブース来場 者数 約500名	関東支部 茨城会
2012年10月30日	第30回研究調査 発表会	新潟県 新潟市 朱鷺メッセ	多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的		会員・学生 339人	関東支部 新潟会
2012年11月5日	定例会	新潟県 ホテル オークラ新潟	「未発見古代淳足柵の地下探求」と題した講演		会員56人	関東支部 新潟会
2012年11月16日	現場見学会	「東京外環自動車 国分工事」「鉄建建設 建設技術総合セ ンター」	「土木の日」関連行事として「東京外環自動車道国分工事」では、大規模な開削工事の見学。「鉄建建設建設技術総合センター」では、交通インフラ工事に必要な「安全」「技術」「経験」を身につけるための施設の見学。		一般32名	関東支部
2012年11月17日	親子見学会	「環状2号地下トン ネル工事」「東京みなと 館」「東京都勝島ポ ンプ所流入管渠工 事」	将来を担う子供たちに土木技術のすばらしさを紹介するために、土木の日記念行事として「親子見学会」。今回の見学先は、「環状2号地下トンネル(新橋第二工区)工事、東京みなと館、東京都勝島ポンプ所流入管渠工事」の見学。		10家族30名	関東支部

#### 4-7-3-4 支部行事開催実績: 関東支部 (3/4)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年11月17日	土木の日見学会「開通前のトンネルを親子で歩いてみませんか」	群馬県沼田市利根町	2014年開通予定の椎坂利根トンネル(510m)内を歩いた。また、菌原ダム of 内部を見学した。		会員2名 一般26名	関東支部 群馬分会
2012年11月17日	土木の日見学会「富士山周辺の環境・文化施設を訪ねて」	山梨県	リニア中央新幹線実験線伸延工事、新倉山トンネル、米倉山ゆめソーラー館、太陽光発電施設等の見学。		会員10人 学生会員0人 一般73人	関東支部 山梨会
2012年11月18日	土木の日見学会	茨城県 ・水戸市 ・日立市	一般対象に県内大型工事現場見学会 ・水府橋架替現場(メタル橋) ・(仮称)新那珂川橋(PC橋) ・国道245号震災崖復旧現場 ・日立市山側道路工事現場		一般参加 31名	関東支部 茨城会
2012年12月2日	「土木の日」記念講演会	新潟県 新潟市 朱鷺メッセ	「防災遺産としての立山砂防の取り組み」の報告と 「想定を超える災害にどう備えるか～釜石市津波防災教育に学ぶ」の講演		一般151人	関東支部 新潟会
2012年12月17日	交流会	土木学会本部	「学生・若手土木技術者交流会」建設会社、コンサルタントの方々を講師に迎えた交流会。		33名	関東支部

#### 4-7-3-4 支部行事開催実績: 関東支部 (4/4)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2013年2月1日	講習会	土木学会本部	「富士山の噴火に備える」と題し、火山噴火予知の視点及び赤色立体地図から環境と防災を考える講習。		79名	関東支部
2013年3月14日	土木学会創設百周年記念事業関連特別企画「若手土木技術交流サロン」	国立大学法人宇都宮大学	日本のみらいに貢献する土木の姿とそこで活躍する土木技術者のあり方、役割についてみんなで考える。		70名	関東支部
2013年3月14、15日	土木学会創設百周年記念事業関連特別企画ミニ「ドボコレ」(土木コレクション)展示	国立大学法人宇都宮大学	土木会が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にすることができない各種コレクションの展示。			関東支部
応募期間 2012年11月1日～ 2013年2月28日	「土木のある風景」 写真コンテスト	第40回技術研究発表会時に展示(国立大学法人宇都宮大学)	技術研究発表会参加者投票(2013年3月14・15日)		応募点数:36 投票数:111	関東支部

#### 4-7-3-5 支部行事開催実績: 中部支部 (1/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年7月1日	出前講座 「新聞紙に乗ろう！ 橋の話と実験」	愛知県 豊山町立 豊山小学校	1)橋のいろいろ 2)作ってみよう 3)乗ってみよう		小学生・教員 44人	中部支部
2011年7月2日	出前講座 「気候の歴史をさぐる」	名城大学 天白キャンパス	環境税制研究会 古気候復元の資料、長期的な視野で 見た気候変動の歴史、地球温暖化 のメカニズムと課題		法学系教員、学 生、税理士等 18人	中部支部
2011年7月20日	出前講座 「環境に配慮した道づ くりへの新しいしくみ ～専門家会から施工 ワーキングへ」	ウィル愛知	自然工法研究会 1)道路整備の現状 2)「環境に配慮した道づくり専門家 会」 3)「施工ワーキング」の活動内容		18人	中部支部
2011年8月22日	出前講座 「進化したつづける建設 材料～東日本大震災 における検証～」	静岡県総合研修所 もくせい会館	東日本大震災における構造物の被 害の特徴について、特に内陸部の被 害と津波による被害に焦点をあてて 講演。また、先端建設材料の一例と して、超高強度ひずみ硬化型モルタル を解説し、特に地震動により被災 したコンクリート構造物の早期復旧 工法の開発事例を紹介		静岡県職員、静岡 県内建設会社社員 110人	中部支部
2011年8月26日	出前講座 「震災発生時の緊急 対応について～阪神・ 淡路大震災、東日本 大震災を教訓として ～」	中部運輸局会議室	中部管内鉄軌道事業者対象 阪神・淡路大震災ならびに東日本 震災の緊急対応等を振り返るととも に、名古屋駅周辺で 大規模に発生する帰宅困難者問題 に如何に対応するかについて、鉄道 関係者として早急に		80人	中部支部
2011年8月29日	出前講座 「地震と津波」	豊橋市役所	・地震の発生メカニズム、地震の規 模と揺れ、発生確率の考え方 ・東海・東南海・南海地震の歴史と今 後の発生予測 ・地震と津波の関係、津波の予測方 法、津波の特性と被害、今後の津波 防災について		豊橋市職員 48人	中部支部
2011年8月29日	エクスカージョン 「飛騨高山の歴史散 策」	飛騨・高山	愛知社会科教育研究会海部支部 地域の歴史・文化を通して、社会基 盤への理解を広める		20人	中部支部

#### 4-7-3-5 支部行事開催実績: 中部支部 (2/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年9月13日	出前講座 「名古屋市における地下鉄事業」	ウインク愛知	名古屋市の地下鉄建設の歴史のほか、地下鉄の建設方法、地下鉄の防災計画等について、この3月に開通した桜通線野並・徳重間の事例を紹介しながら講義。		中部土質試験 協同組合員 31人	中部支部
2011年10月3日	出前講座 「緊急地震速報で命をまもる」	鈴鹿市 職業訓練センター	大野工務店安全大会 東日本大震災について、地震概要及び被災状況を紹介します、会社のBCPIについて説明した。		97人	中部支部
2011年10月9日	出前講座 「けんたのわくわくおもしろ体験 橋のひみつ探検隊」	(株)デンソー高棚製作所・(株)デンソー技研センター	刈谷法人会 簡単に説明し、その後、サンプルを見せて、橋の製作をした		小学校低学年と その親 のべ74人	中部支部
2011年10月29日	土木の日市民見学会 「未来を支える交通基盤」	愛知県	新東名高速道路、リニア・鉄道館 等		一般38人	中部支部
2011年11月12日	土木の日市民見学会 「“つながる”現場を見てみんげ？」	富山県	富岩運河中島閘門、北陸新幹線工事現場 等		一般28人	中部支部
2011年11月19日	出前講座 「生物多様性」	名城大学 天白キャンパス	環境税制研究会 ・生物多様性についての説明 ・生物多様性の価値について ・生物多様性の現状		環境税について 勉強する学生、 税理士など 16人	中部支部
2011年11月19日	土木の日市民見学会 「人の命や生活を守る 土木施設について考えよう」	岐阜県	丹生川ダム工事現場、国道41号高山国府バイパス 等		一般18人	中部支部
2011年11月23日	土木の日 親子ふれあい見学会 「中部水辺環境を学ぼう！！」	愛知県	堀川～名古屋港～木曾三川～船頭平閘門		一般30人	中部支部

#### 4-7-3-5 支部行事開催実績: 中部支部 (3/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年11月25日	市民対象講座 「東海・東南海・南海地震に備えて」	名古屋 通信会館	「大規模震災発生時の緊急対応について～阪神・淡路および東日本大震災からの教訓を生かして～」 「液状化を考える～東日本大震災の分析と課題を通じて～」		一般127人	中部支部
2011年11月25日	土木技術者と学生の交流会	名古屋 通信会館	講演会:「防災・災害復旧復興における土木技術者の役割」 意見交換会:土木技術者(官公庁・学校・民間企業)と学生の交流		56人	中部支部
2011年12月4日	エクスカーショ ン 「名古屋港・木曾三川下流を巡る」	愛知県	木曾三川～船頭平閘門		教育大学学生 9人	中部支部
2012年1月26日	出前講座 「緊急地震速報で命を守る」	関市立 関商工高等学校	東日本大震災の地震・津波メカニズム、被害の実態を説明し、その後南海トラフ沖の巨大地震が見直されていることを紹介。 緊急地震速報が今後役に立つこと、震動台を用いて建物の共振について実験。最後に、簡単なテストを実施。		76人	中部支部
2012年2月4日	出前講座 「進化しつづける建設材料」	日本技術士会花車ビル北館	新しいセメント系材料の基本物性やその利用法について紹介。 東日本大震災での被害状況についても紹介し、参加者と活発な質疑応答を行った。		13人	中部支部
2012年2月15日	出前講座 「新幹線の線路保守」	愛知県立 半田工業高等学校	新幹線の軌道構造、東海道新幹線の軌道メンテナンス、新幹線の指令業務、リニア計画の概要		40人	中部支部

## 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (1/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年4月12日	平成24年度 第1回どぼくカフェ 「フロントに土木？」	Loop A (阪神高速 ミナミ交流プラザ)			26名	関西支部
2012年5月26日	小中高生対象見学会 「高速道路をつくって いるところを見に行こ う！」	にそと工事館、 大山崎JCT			91名	関西支部
2012年6月1日 ～9月10日	土木の日絵画募集 災害に強い未来のま ち～土木がつくる～				子供部門: 141件・ 一般部門: 64件	関西支部
2012年6月9日	年次学術講演会	神戸市立 工業高等専門学校	毎年、土木学会関西支部において開催されている年次学術講演会である。第Ⅰ部門から第Ⅶ部門まで、343件の発表となっている。土木およびその関連分野に関心のある実務者、研究者を対象とし、継続教育に資するような、現在の技術や状況等、幅広い内容が理解できるものと考えられる。		660名	関西支部
2012年7月13日	平成24年度 第2回どぼくカフェ 「ファンタジー営業部 による土木的ファンタ ジーなるものを語る 会」	Loop A (阪神高速 ミナミ交流プラザ)	演者は前田建設ファンタジー営業部。マンガなどの空想世界に存在する特徴ある建造物を「受注」し、現状の技術で建設するとしたらどうなるか、真面目に考えている部署です。今回いつものLoop Aに出張しにきてもらいます！		23名	関西支部

## 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (2/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年7月27日	小中学生対象 「夏休み土木実験教室」	土木学会関西支部			100名	関西支部
2012年7月31日 ～8月1日	第26回 コンクリート構造の設計・施工・維持管理の 基本に関する研修会	建設交流館	「コンクリート構造の設計、施工、維持管理の基本」と題したテキストを改訂、発刊し、それに基づきわかりやすい内容で“設計に関する研修会”と“施工・維持管理に関する研修会”を開催。大学・高専の専門課程を経てからコンクリート構造物に関する実務経験を積んだ技術者に対し、基礎知識を再確認させるとともに、最新の設計、施工、維持管理技術についても概観し、より深くまた横断的な専門知識を習得させることを目標とする。		第Ⅰ部 75名・第Ⅱ部 52名	関西支部
2012年8月1日	教員免許状更新講習 『知っておきたい！ 環境に優しい 資源再生術』	神戸市東灘処理場			小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員38名	関西支部
2012年8月3日	ぶら・土木1 ぶらッと宇宙へ	ドーンセンター	「つながる、伝える、育てる、育つ」をキーワードに、若手土木技術者の交流と技術力の向上を目的とした講演会です。①関西での若手土木技術者のネットワークを作ること、②土木技術の現状を学ぶこと、③若手技術者の能力向上に必要なことを学ぶこと、④土木工学を学ぶ学生への必要な支援体制を作ることの4つの柱として、ぶら～と土木の新発見を重ねてきます。1回目は、宇宙建設工学の創成に向けた知識を身につけます。		33名	関西支部
2012年8月21日	第13回 コンクリートカヌー 競技大会	兵庫県立 円山川公苑	土木技術の面白さを広く地域社会にアピールするとともに、高校土木科のイメージアップを図る。また、土木工学の基礎であるセメント(モルタル)を使って創造力を養う狙いもあり、高校土木科の課題研究の一つとして実施されている。		14校17艇	関西支部

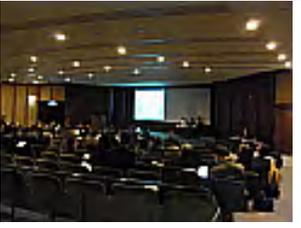
#### 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (3/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年8月28日	第4回東北地方太平洋沖地震による津波災害特別調査研究委員会報告会	関西大学 BIGホール100	東北地方太平洋沖地震による津波災害の調査結果に基づいて、東南海・南海地震による津波災害をできる限り最小限に食い止めるための施策について多角的に検討し提言する。		194名	関西支部
2012年8月31日	維持管理の時代を迎えた土木技術者の役割と技術伝承に関する特別講演会 ～土木技術者に継ぐ、地震対策等での課題解決例・関連構造開発例等の紹介と今後の課題～	建設交流館	昨年度に土木学会関西支部副支部長を務めていただいたお二人を講師に迎え、支部会員の資質の向上および会員へのサービス向上を目的とする、主に若手技術者から中堅技術者を対象とした特別講演会である。		86名	関西支部
2012年9月14日	平成24年度 第3回どぼくカフェ 高架橋脚ファンクラブ	Loop A (阪神高速 ミナミ交流プラザ)			26名	関西支部
2012年9月28日	橋梁ヘルスマニタリングに関する講習会	大阪市立大学文化 交流センター	土木学会関西支部調査研究委員会「橋梁の維持管理へのモニタリング技術の適用に関する調査研究委員」の2カ年(H22～H23)にわたる調査研究活動の成果報告である。単なるモニタリング技術の紹介にとどまることなく、現場(有年橋、旧鳥飼大橋、阪神高速三宝ランプ)で実施した実証実験を中心に成果報告を行い、参加者には、橋梁に関するモニタリング技術、および、その現状と課題を理解してもらう。		67名	関西支部
2012年10月13日	一般市民対象見学会 ～大規模地震への備え～直立浮上式防波堤と稲村の火の館を 探求しよう!!	和歌山下津港海岸 (海南地区)津波浸 水対策工事現場、 稲むらの火の館			76名	関西支部

## 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (4/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年10月31日	建設技術展2012 近畿での『土木実験・ プレゼン大会』 ～どうして?なぜ?が 一目でわかる～	マイドームおおさか	どうして?なぜ?が一目でわかる土 木実験		200名	関西支部
2012年11月1日	建設技術展2012 近畿での学生のため のキャリア支援 ～相談にのります、将 来への道づくり～	マイドームおおさか	土木関連業界って?どんな仕事?何 ができるの?いろんな疑問にお答え します!(土木関連業界についての 概要説明、自由に質問できる個別説 明会、出展企業のブース訪問)		130名	関西支部
2012年11月30日	平成24年度 FCCフォーラム どぼくカフェ コクドウを味わう	川の駅はちけんや にぎわいXing	今回のテーマは国道。誰もが生活に利用し ている国道を、味わうってどういうことし ょう?国道には、国が直轄で管理する国道に 加え、地方自治体が管理している国道もあり ます。今回のどぼくカフェは、特に地方自治 体が管理されている国道を取り上げ、酸いも 甘いも、その魅力をしゃぶり尽くしてやろう! という企画です。		82名	関西支部
2012年12月6日	ぶら・土木2 ぶらッと現場へ 阪神三宮駅改良工事 現場見学会	阪神三宮駅	「つながる、伝える、育てる、育つ」をキーワードに、若手土木技術 者の交流と技術力の向上を目的とした講演会です。①関西での 若手土木技術者のネットワークを作ること、②土木技術の現状を 学ぶこと、③若手技術者の能力向上に必要なことを学ぶこと、④ 土木工学を学ぶ学生への必要な支援体制を作ること4つの柱と して、ぶら〜っと土木の新発見を重ねてきます。2回目は、現場見 学を通して街中での工事に際しての工夫を学びます。		25名	関西支部
2012年12月6日	平成24年度 第4回どぼくカフェ 「安定志向ライブ& トーク in どぼくカフェ」	Loop A(阪神高速ミ ナミ交流プラザ)	今回のテーマは、「安定志向ライブ & トーク in どぼくカフェ」とし、公務員同 士の漫才コンビ「安定志向」さんに漫 才を交えた講演を行っていただきま す。また、今回で通算10回を迎えた 「どぼくカフェ」の歴史を振り返りなが らフリートークを行う予定です。		30名	関西支部

## 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (5/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年12月7日	土木計画学 ワンディセミナー No.67 自転車通行空間の設計 ～事例から学ぶ～	キャンパスポート 大阪	警察庁や国土交通省の検討会では、車道における自転車利用ネットワーク整備に向けて提言をまとめています。また、モデル事業や社会実験において、多様な整備事例が生まれています。本セミナーでは、土木学会計画学研究委員会の自転車政策研究小委員会において製作しました、多様な自転車通行空間の事例集(主要な約40例の経緯・評価を収録)を用いて、歴史や設計上の留意点などを解説し、今後の整備方向を共有します。		72名	関西支部
2012年12月10日	高専学生対象講演会	福井工業高等専門学校			120名	関西支部
2013年1月15日	教職キャリア形成支援講座 防災教育～子供たちを災害から守るためには	兵庫教育大学			16名	関西支部
2013年1月22日	関西支部技術賞候補発表会	建設交流館			76名	関西支部
2013年2月4日	新春講演会・交流会	建設交流館	会員交流の活性化と継続教育を意図して行うものである。土木学会員を対象とし、土木技術を取り巻く状況や関連分野の動向についての理解を促すことを目標としている。「アフガニスタンに生命の水を～日本の伝統的土木技術が大地を甦らせる～」と題し、ペシャワール会事務局長・福元満治氏に講演していただく。		講演会:85名 交流会:78名	関西支部

#### 4-7-3-6 支部行事開催実績: 関西支部 (6/6)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2013年2月8日	福井地方講演会	福井県 国際交流会館	年1回、支部内の5県(福井、兵庫、奈良、滋賀、和歌山の順)で各県の建設技術協会等と共催して、広く一般の方々に土木についての理解を深めていただくために開催。本年度は福井県にて行う。		93名	関西支部
2013年2月13日	施工技術報告会 「最近の建設・保全・ 環境技術と施工事例」	建設交流館			118名	関西支部
2013年3月14日	第5回東北地方太平洋沖地震による津波災害特別調査研究委員会報告会	キャンパスプラザ 京都	東北地方太平洋沖地震による津波災害の調査結果に基づいて、東南海・南海地震による津波災害をできる限り最小限に食い止めるための施策について多角的に検討し提言する。		128名	関西支部

## 4-7-3-7 支部行事開催実績:中国支部 (1/2)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年7月～9月	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」	広島県下	次世代を担う子どもたち(小中学生)に「土木(社会資本整備)」を描くことで、普段生活している場所、何気なく見ている物が土木技術に支えられていることの認識を少しでも感じ、土木に親しんでもらう目的で実施。		応募件数 小学生:639枚 中学生:228枚 合計:867枚	中国支部
2012年11月10日 ～23日	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」 優秀・佳作作品展示	広島市 市民交流プラザ	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」優秀作品13点、佳作作品50点を展示		展示期間中 約300名	中国支部
2012年11月	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」 優秀作品表彰式	広島市 市民交流プラザ	第5回「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」優秀作品13点を表彰。作品は2013年のカレンダーにして贈呈。		表彰式に参加した 親子65名	中国支部
2012年11月	ハイウェイ ちびっこセミナー (西日本高速道路㈱ 中国支社と共催)	西日本高速道路㈱ 中国支社	高速道路の役割やコンクリート試験 練り体験や強度試験を見学して、地 域の暮らしを支える「土木」について 考えた。		周辺の小学5年生 227名	中国支部
2012年11月	広島高速道路 親子見学会 (広島高速道路公社 と共催)	広島高速3号 建設現場	高速3号線の橋脚の施工状況を見学 し、ヤード内の高所作業車に搭乗し たり、測量機器で測量を行い、土木 に対する理解と土木技術の素晴らし さを感じた。		小学生3年～6年と 保護者 49名	中国支部

### 4-7-3-7 支部行事開催実績:中国支部 (2/2)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2013年6月8日	第2音戸大橋 建設現場見学会	第2音戸大橋 建設現場	建設中の第2音戸大橋建設現場見学し、普段は見ることのできない工事過程や先端技術を学びながら、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考えた。		一般市民40名	中国支部
2013年12月14日	土木遺産ツアー ～呉編～	呉市 本庄水源地 アレイからすこじま	バスで呉の土木遺産を訪れ、歴史的な土木施設の見学を通じて、それらが建設された背景、役割、用いられた技術、先人の知恵等を理解し、土木に親しみをもってもらうことを目的とした市民対象の土木遺産ツアーを実施した。		一般市民40名	中国支部
2013年3月27日	支部タスクフォース 委員会 街コン! 防災マップ作成演習	広島市内	中国5県の土木系大学生が集まり、災害時の危険個所を写真にとり、ハザードマップの作成を試みた。それぞれの災害ポテンシャルについて、TFメンバーにより、技術的な見地からの議論を行った。		学生18名 TF22名	中国支部

## 4-7-3-8 支部行事開催実績:四国支部 (1/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年5月19日	技術研究発表会 フォーラム「我々は津波防災のために今日からなにをすべきか」	高知県 高知工科大学	東海・東南海地震の津波対策について、官・民・学それぞれの分野における取り組みの現状について話題提供していただき、「我々は今日から何をすべきか」について意見交換を行った。		一般130名	四国支部
2012年7月28日	吉野川干潟の生物・環境の観察会	徳島県 徳島市 吉野川河口干潟	ラムサール条約登録を目指す吉野川河口に広がる中州干潟では絶滅危惧種に指定されている生き物もたくさん見ることができます。生き物を直接見ることができ、参加者は大いに楽しみ学んだ。		一般18名	四国支部
2012年9月1日	徳島地区 講演会「いま水害のリスクを考える」	徳島県 徳島大学工業会館	防災の日にあたる9月1日に「都市型水害に関する事象と避難」、「海岸利用者の津波防災意識と避難意思決定に及ぼす東日本大震災の影響」に関する講演で、活発な質疑応答が行われた。		45名	四国支部
2012年9月12日	CL135号&CL136号 に関するコンクリート 講習会	香川県 サンメッセ香川	土木学会コンクリート委員会から発行された「コンクリートのポンプ施工指針(2012年制定)」および「高流動コンクリートの配合設計・施工指針(2012年制定)」に関する講習会を行った。		50名	四国支部
2012年11月2日	「土木の日」 記念講演会 「新たな公共工事執行システムの構築」	香川県 かがわ国際会議場	地方中心建設会社を見据えた入札システムおよび契約システムに着目した将来の公共工事システムの全体像について提示し、それを実現するための取り組みについての活動内容等を紹介した。		一般170名	四国支部

#### 4-7-3-8 支部行事開催実績: 四国支部 (2/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年12月19日	香川地区 土器川現場見学会	香川県 ①丸亀市飯野 ②まんのう町長尾	丸亀市土器川の河床洗掘が著しい箇所の ①護岸工事・根固工事現場の見学。 ②野津床止めの工事現場の見学。		高専生42名	四国支部
2013年1月24日	第7回南海地震四国 地域学術シンポジウ ム	香川県 サンポートホール高 松	四国の各行政機関の東南海・南海 地震対応への取り組みの紹介と各 研究機関が有している学術・技術研 究の現状と東南海・南海地震研究に 向けた今後の課題を検討した。		一般110名	四国支部
2013年2月5日	愛媛地区 講演会及び 産官学技術交流会	愛媛県 松山全日空ホテル	愛媛県内の産官学の関係者が一堂 に会し、講演会にて最新の土木関連 情報を共有し、交流会では今後の土 木事業のあり方について意見交換を 行い、親睦を深めた。		講演会114名 交流会60名	四国支部
2013年2月13日	平成24年度学術講演 会「建設工事における 性能設計」	香川県 香川県立ミュージア ム	「建設工事における性能設計」の制 度整備の現状を考え、さらに土構造 物構築の特殊性を概観し、性能設計 化における観測化施工の重要性に ついて議論した。		一般80名	四国支部
2013年3月15日	平成25年自然災害 フォーラム	徳島県 徳島大学工業会館	自然災害による被害の軽減を目的 に、特別講演と一般講演を通じて災 害調査や災害研究に関する情報の 共有を図った。		一般76名	四国支部

#### 4-7-3-8 支部行事開催実績:四国支部 (3/3)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2013年3月23日	「安全な国土の再設計」土木学会四国支部タスクフォース主催『防災講演会』	高知県 高知市文化プラザ	「安全な国土への再設計」について調査研究するとともに、その活動を学会内に留めず、国民的運動へと高めることを目的として「防災講演会」を開催した。		一般86名	四国支部

#### 4-7-3-9 支部行事開催実績:西部支部 (1/1)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2012年8月22日	平成24年度 親子見学会	東九州自動車道 光国トンネル現場 遠賀川水辺館	「土木」への理解を深めてもらうことを目的に、小学生を対象とした「親子見学会」		大人13名 子供20名	西部支部
2012年8月24日 ～25日	韓国・台湾・日本 ジョイントセミナー	熊本 交通センターホテル	西部支部では平成16年11月に大韓土木学会の釜山・蔚山・慶南支会と技術交流協定を結び、それに基づいて活発な交流事業を実施してきました。今回は熊本大学国際会議と共同で実施し、新たに台湾を含めた韓国・台湾・日本ジョイントセミナーとなり17件の発表件数があった		120名	
2013年3月9日	平成24年度 研究発表会	熊本大学 黒髪キャンパス	支部会員を対象とした、土木工学や土木技術等に関する研究、技術成果を持ち寄り発表することにより、会員間の有益な情報を交換する場として毎年開催。I部門からVII部門まで503題の発表があった		800名	西部支部

#### 4-7-4-1 委員会活動行事開催実績

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	組織名
2012/10/21	土木ふれあいフェスタ (100周年記念事業)	名古屋市 イオンモ- ル大高店	一般の方に土木への理解を深めていただくために、土木に関する展示、体験コーナー 液状化、トンネル、橋)、クイズラリーなどを実施することで、交流を図った。		一般約400名	コンサルタント委員会(市民交流研究小委員会)
2012/9/5 ～ 2012/9/7	土木コレクション2012	名古屋大 学 東山 キャンパ ス ES総 合館	土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にするできない各種コレクションを展示、公開するとともに、最近話題になった新しいコンセプトのプロジェクトについて展示した			土木の日実行委員会土木コレクション小委員会
2012/10/31	建設技術展2013近畿 土木実験プレゼン大会	大阪市 マイド-ム 大阪	建設技術展の来場者を対象に、土木を模型などを使ってがけ崩れのメカニズムについて解りやすく説明した。		一般200人	地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会
2012/11/21 ～ 2012/11/24	土木コレクション2012 HANDS+EYES	東京都 新宿西口 広場	土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にするできない各種コレクションを展示、公開するとともに、最近話題になった新しいコンセプトのプロジェクトについて展示した			土木の日実行委員会土木コレクション小委員会